

平成29年度シラバス	コミュニケーション英語 I	1年
------------	---------------	----

教科	外国語科	単位数	3単位	学科・学年・コース・組	普通科 1年 1組～7組
使用教科書	VISTA English Communication I (三省堂)				
副教材等	教科書準拠ワークブック(三省堂)、高校英語の基礎B				

1 学習の到達目標

1. 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。
2. 日常的な話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。
3. 日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。

2 科目の特色

- ・中学校における音声によるコミュニケーション能力を重視した指導を踏まえ、聞くこと及び話すことの活動を多く取り入れながら、読むこと及び書くことを含めた四つの領域の言語活動を総合的、有機的に関連させて学習します。
 - ・各単元の言語活動では、情報や考えなどの受け手や送り手になるよう、具体的な言語の使用場面を設定し、次のようなコミュニケーション活動を行います。
- ア 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。(聞くこと)
 イ 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。(読むこと)
 ウ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。(話すこと)
 エ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。(書くこと)

3. 学習の計画

学期	月	課	タイトル	学習のねらい	主な言語材料	指導上の留意点	配当
1	4	Get Ready! ① さがしてみよう 書いてみよう		・アルファベットを復習する。 ・単語の書き方を復習する	・文字、単語	・文字、音声、イラストを有効に組み合わせさせて単語に慣れさせる。	1
		Get Ready! ② 辞書で調べてみよう		・英語の学習用辞書を引けるようにする。		・実際に紙の辞書を使って、単語を調べさせる。	1
		Get Ready! ③ 言ってみよう 使ってみよう		・基本的な教室内での会話をできるようにする。		・会話の練習を繰り返し行い、慣れさせる。	1
		のちゃんの英文法		・本課に入る前の、中学校における基礎の確認をする。	・主語、be 動詞、一般動詞、目的語、形容詞、副詞、前置詞、冠詞	・基礎的な文法を確認させる。	2
	5	L.1	Kerama Blue	・慶良間の海を守るサンゴ礁の役割と、海とそのサンゴ礁を守る島民の努力について考える。	・be 動詞 ・一般動詞	・be 動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。	2
		L.2	Cool Japan	・日本の魅力を、外からの視点を通して知る。	・疑問文 ・現在進行形	・疑問文では、疑問詞を用いる場合、用いない場合でその答え方が違うことに留意させる。	2
		L.3	Mexican Dishes	・世界無形文化遺産であるメキシコ料理と、その特色ある食文化について知る。	・過去形 ・助動詞	・一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。 ・助動詞の意味の違いに注意させる。	2
	6	Look and Learn 1		・文法のまとめ (代名詞/基本文型(1)/肯定文・否定文・疑問文・命令文/助動詞)		・言語材料を体系的に整理させる。	1
		L.4	The Olympics	・近代オリンピックの発祥と理念、過去の競技、またパラリンピックについて知る。	・SVO(O = that ~) ・SVOC, SVOC	・I think that ~ の構文を使って自分の考えを言えるようにする。 ・動詞のあとの語順に注意させる。	4
		Take a Break! 1 宝の箱をさがそう		・暗号文の解説を通して、文脈を推測しながら読む方法を学ぶ。		・ヒントを適宜変えて提示する。	1
		L.5	Baobabs in Madagascar	・バオバブが直面している問題を知り、どうしたら保護できるかを考える。	・不定詞	・不定詞の意味の使い分けに慣れさせる。	4
	7	ENJOY COMMUNICATION! 1 Nice to Meet You.		・初対面の場面でのコミュニケーション活動。		・初対面の人との挨拶や簡単な自己紹介ができるようにする。	1
		Look and Learn 2		・文法のまとめ (基本文型 (2)/不定詞)		・言語材料を体系的に整理させる。	1
		Reading Skill 1		・主語・動詞を見つけられるようにする。		・主語と述語動詞を確認し、文の内容を正確に理解できるようにする。	1
2	9	L.6	Toothbrushing in Edo	・江戸時代の生活習慣 (歯磨き) について知る。	・動名詞	・日本文化を英語で紹介させる。 ・動詞と動名詞の違いに注意させる。	4

		Take a Break! 2 ののちゃん	・漫画「ののちゃん」を、英語を通して鑑賞する。		・セリフとして表現される英語と日本語の違いに注意させる。	1	
	L.7	Machu Picchu	・世界遺産であるマチュ・ピチュとその文化、また複合遺産に指定されている理由について知る。	・現在完了形	・動詞の過去分詞形に慣れさせる。 ・現在、過去、現在完了を使い分けられるようにする。	4	
10		ENJOY COMMUNICATION! 2 Today's Special	・レストランやカフェの場面でのコミュニケーション活動。		・レストランでの客と店員の典型的なやり取りに慣れさせる。	1	
		Look and Learn 3	・文法のまとめ (動名詞/現在完了形)		・言語材料を体系的に整理させる。	1	
		Reading Skill 2	・文をつなぐ語を知る。		・文をつなぐ語に留意して、文の内容を正確に理解できるようにする。	1	
	L.8	Motala and Landmines	・人間のおこなっていることのような面をモタラの話が象徴しているかを考える。	・受け身	・能動態と受け身の違いに留意させる。	4	
		Take a Break! 3 歌ってみよう	・「Wings to Fly」の歌を通して、英語の歌詞に親しむ。		・詞のリズムや韻に注意させながら、実際に朗読、または歌ってみる。	1	
11	L.9	Dick Bruna	・「ミッフィー」でおなじみのディック・ブルーナの社会的役割を知る。	・関係代名詞	・関係代名詞の主格・目的格の使い分けに注意させる。	4	
		ENJOY COMMUNICATION! 3 How About This One?	・買い物の場面でのコミュニケーション活動。		・買い物での客と店員の典型的なやり取りに慣れさせる。	1	
		Look and Learn 4	・文法のまとめ (受け身/関係代名詞)		・言語材料を体系的に整理させる。	1	
12		Reading Skill 3	・語句のかたまりを正しく区切れるようにする。		・ことばのまとまりに留意して、文の内容を正確に理解できるようにする。	1	
	L.10	Tsujii, the Great Pianist	・辻井伸行さんのインタビューを通して、偉業を達成するためには何が大切かを考える。	・関係副詞 ・形式主語 It It is ~ (for A) to do ..., It is ~ that A do ...	・関係副詞を用いて、自分にとって特別な日や場所について説明してみる。 ・形式主語 It を用いて、何をすることが重要だと思うかを述べてみる。	4	
		Take a Break! 4 大丈夫かな?	・シルヴァスタインの詩を通して、英語の詩に親しむ。		・詩のリズムや韻に注意させながら、実際に朗読してみる。	1	
3	1	L.11	Ideas from Nature	・自然界からヒントを得て作られたものが私たちの暮らしを便利にしていることを知る。	・分詞構文	・分詞構文を利用して、読み手や聞き手の注意を引く表現ができるようにする。	4
			ENJOY COMMUNICATION! 4 It's on Your Left.	・道案内の場面でのコミュニケーション活動。		・道を尋ねたり、案内したりできるようにさせる。	1
	2	L.12	Steve Jobs	・スティーブ・ジョブズのことばや生き方から読み取れるメッセージについて考える。	・仮定法過去	・仮定法過去を使って、自分の考えなどを述べるができるようにする。	4
			Look and Learn 5	・文法のまとめ (関係副詞/形式主語 it/分詞構文/仮定法過去)		・言語材料を体系的に整理させる。	1
3		ENJOY READING! The Little Prince	・名作『星の王子さま』を鑑賞する。		・抑揚や感情を込めて朗読できるようにする。	4	

4 評価の観点・方法(及び年間の評定)

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。
表現の能力	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現しているか。
理解の能力	日常的な話題について、英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているか。
知識・理解	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とする。

- ・定期考査 60% ・実力テスト/単語小テスト/単元テスト/口頭テスト/北イングリッシュ検定 30%
- ・提出物/ポイントカード/授業への参加状況 10%

5 特に強調しておきたい点(留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。)

英語は、毎日学習することが大切です。この計画を参考にして、進んで学習する習慣を身に付けましょう。予習→授業→復習の学習サイクルを早期に確立し、予習で分からない点を明らかにしてから、授業に臨みましょう。
言葉は、自分で努力して学んだもの以外には身に付きません。こまめに辞書を引くよう心がけましょう。英語は、声に出して学習すること、学んだ表現を実際にできるだけ多く使ってみることが上達の秘訣です。

